**職　務　経　歴　書**

**20xx年xx月xx日現在**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名　○○ ○○

**■職務要約**

新卒入社した製造小売ビジネス企業の情報システム部門にて、各種システム企画・開発を経験。商品の需要予測・生産管理・在庫管理・販売管理・ロジスティクスなどの各種システム企画・開発を経験。クラウドを活用した次世代インフラ基盤の企画・構築などをプロジェクトマネジャーとして経験しております。

**■活かせる経験・知識・技術**

・需要予測、生産管理、在庫管理に関する業務知識

・経営戦略にもとづくIT戦略の策定、システム企画経験

・最大20名規模のプロジェクトマネジャーとして、予算管理、進捗管理、品質管理、外部ベンダー管理などを経験

・AWS、Azureでのクラウド基盤設計・開発、Linux、Java、PHPを用いた開発経験

**■職務経歴詳細**

　□20xx年xx月～現在　株式会社△△

　事業内容：製造小売事業

　資本金：○○○百万円　売上高：○○○百万円（20xx年）　従業員数：○○○名　　上場

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **期間** | **担当内容** | **開発環境** | **役割／規模** |
| 20xx年xx月  ～現在 | **次世代店舗システム企画・開発**  【概要】  ・人流・商品の在庫状況などを、AIを活用して従業員シフトの自動作成  　スマートデバイスでの商品一元管理システム企画・開発をリード  【担当フェーズ】  ・業務分析、要件定義、システム基本設計、詳細設計、開発 | AWS  Python | プロジェクトマネジャー/メンバー10名  ・進捗管理  ・コスト管理  ・品質管理 |
| 20xx年xx月  ～20xx年xx月 | **基幹システムAWS移行プロジェクト**  【概要】  ・需要に応じた最適な原材料調達、生産、在庫や販売の一元管理を実現する  SCMシステム刷新プロジェクト  ・SAPをAWS上に移行を計画、実行  【担当内容】  ・業務課題の抽出と解決策の検討、システム全体像の企画・検討  ・役員決裁に向けて予算を含めた提案、承認  ・システム要件定義、基本設計、開発フェーズ以降のプロジェクト管理 | AmazonEC2、S3  SAP | プロジェクトマネジャー/メンバー15名  ・進捗管理  ・コスト管理  ・品質管理 |
| 20xx年xx月  ～20xx年xx月 | **グループIT戦略立案、ロードマップ策定**  【概要】  ・ホールディングス全体の中長期事業計画を実現するシステムやDXの  　戦略立案、5か年のロードマップ策定業務    【担当内容】  ・事業課題の分析、新規システム構想、既存システム刷新の企画・検討  ・今後のシステム開発における総額予算の策定・承認  ・IT組織体制の見直し、組織拡大に向けた人員計画策定 |  |  |
| 20xx年xx月  ～20xx年xx月 | **ECシステム企画・開発プロジェクト**  【概要】  ・EC事業立ち上げに関して、ECサイトから購買管理・物流など  　バックエンド側のシステム企画・開発をリードする    【担当内容】  ・ビジネス企画担当との業務要件定義、システム要件定義  ・システム基本設計、詳細設計、開発、単体テスト、連結テスト、運用 | Linux  SQL Server  Java  PHP  HTML5  Javascript | プロジェクトリーダー  /メンバー7名  ・進捗管理  ・品質管理 |
| 20xx年xx月  ～20xx年xx月 | **物流システム企画・開発プロジェクト**  【概要】  ・全国10か所の物流拠点における商品入荷・庫内物流・出荷における  　業務プロセス改善におけるシステム企画・開発・運用業務  【担当内容】  ・ビジネス業務課題の抽出・分析  ・システム企画、基本設計、詳細設計、開発、単体テスト、運用テスト  　運用・保守、改善提案 | Linux  Oracle  Java | メンバー/15名 |

**■保有資格**

・基本情報技術者試験（20xx年xx月）

・応用情報技術者試験（20xx年xx月）

**■英語力**

・TOEIC 770点（20xx年xx月）

**■自己PR**

コストと業務効率を意識し、また積極的にエンドユーザーとコミュニケーションをとることにこだわり、業務遂行してきました。社内ユーザーとの折衝においては、いきなり自分の意見を述べるのではなく、まずユーザーの意見を十分に聞いた上で一緒に考え、最適な解が出せるよう努めてきました。中でも○○プロジェクトではコスト○％削減の成果につながり、現場より「生産性が上がった」との評価を受けています。

近年はDXを推進すべく、データ抽出・分析経験に関わる最新技術についても独自に学習しております。

プロジェクトマネジメントにおいては、メンバーに対して自分から積極的にコミュニケーションとることで信頼関係を構築することを意識しており、結果として適切なタスクの振り分け、リスク管理にもつながっています。

以上